

メディカル・サイエンス・ ファンド

追加型投信／内外／株式

愛称：医療の未来

Morningstar Award“Fund of the Year 2015”
モーニングスター優秀ファンド賞受賞



Morningstar Award “Fund of the Year 2015”は過去の情報に基づくものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また、モーニングスターが信頼できると判断したデータにより評価しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。著作権等の知的所有権その他一切の権利はモーニングスター株式会社並びにMorningstar, Inc. に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。

当賞は国内追加型株式投資信託を選考対象として独自の定量分析、定性分析に基づき、2015年において各部門別に総合的に優秀であるとモーニングスターが判断したものです。国際株式型部門は、2015年12月末において当該部門に属するファンド1,088本の中から選考されました。

当ファンドのポイント

メディカル・サイエンス企業のビジネスチャン

先進国

P3~4

高齢化の
進展

医療技術の
進歩

医療利用者の増加に

※メディカル・サイエンス企業とは、バイオテクノロジー、医薬品、医療機器、ヘルスケア・サービスなどに関連する企業を指します。

投資分野



世界のメディカル・サイエ

バイオテクノロジー分野 (P7~8)

バイオテクノロジーは、バイオロジー(生物学)とテクノロジー(技術)から作られた言葉であり、生物の持つ機能を応用し、ヒトの生活に役立つ技術を指します。細胞・組織培養、遺伝子組み換えなどの種類があり、医療・医薬品、食品、化学、農林水産など関連分野は多岐にわたります。

医薬品分野 (P9~10)

家庭や病院などでの病気の予防や治療、診断等に使用する薬品などを開発・生産している分野。とりわけ、バイオ医薬品が注目されています。化学合成の従来型の低分子医薬品に比べて製造工程が複雑で、高度な技術とノウハウ、高額の研究開発費などが必要となるため、市場への参入障壁が高いとされています。

上記は過去の情報であり、将来の運用

※当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性

スは今後も拡大が期待されます。

新興国

P5~6

生活スタイル
の変化

人口増加

より需要拡大を予想

ンス市場の拡大を期待

医療機器分野 (P11~12)

医療機器は、血圧計や電子体温計など身近なものから、CT、MRI、注射器、内視鏡、麻酔器、カテーテル、人工関節、人工呼吸器、ペースメーカー、人工透析装置などに至るまで、多種多様の製品があり、大手医療機器メーカーのみならず、中小企業も多く進出しています。

ヘルスケア・サービス分野 (P13~14)

ヘルスケア・サービス分野では、病院、透析、医療検査などの施設運営のほか、高齢化社会の進行に伴い、在宅介護サービス、医療保険などの企業も注目されています。

成果等を示唆・保証するものではありません。

について、同社が保証するものではありません。※当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

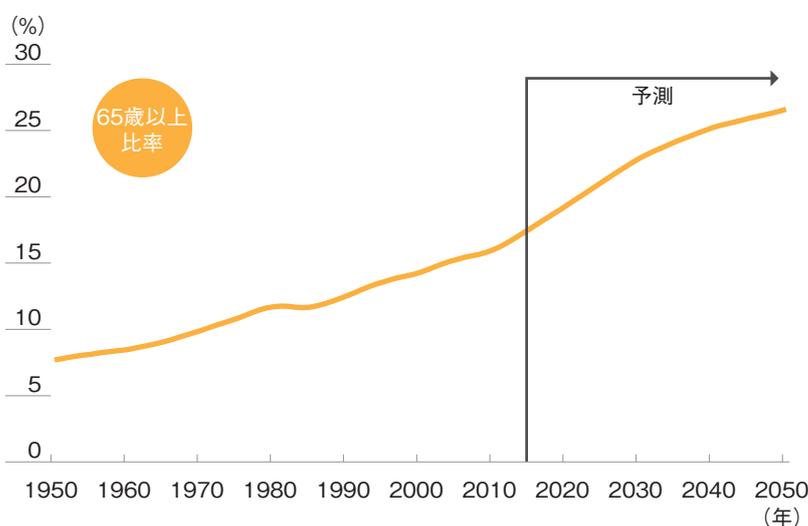
高齢化や技術進歩により先進国で医療へ

先進国は高齢化の進展が予想されています。また、医療技術は目覚ましいことから、医療への関心が高まるものと考えます。

高齢化の進展

先進国は急速に高齢化が進展しており、2050年には4人に1人が65歳以上となる見込みです。

先進国の高齢者人口の割合の推移



高齢化が進むと医療利用者が増加します。例えば、高齢化の進む日本では、厚生労働省のデータによると65歳以上の入院・外来患者数が1987年から2014年にかけて約240万人から約445万人に増加しました。

※期間:1950年～2050年(年次、ただし2015年以降は国際連合予測値)
※先進国は国際連合が定義する「More developed regions」を使用
出所:国際連合のデータをもとにアセットマネジメントOne作成



先進国は高齢化の進展で メディカル・サイエンス市場の拡大が期待

高齢化の進展により先進国では医療支出が増大しており、先進国の名目GDPに占める医療費の比率は上昇してきました。高齢化による医療の質の向上が求められるなか、疾病予防やテーラーメイド医療*、患者に負担の少ない治療へのニーズは高まることが期待されます。

*テーラーメイド医療とは特定の疾病に合わせた治療法ではなく、各患者の分子・遺伝子情報に応じた治療法のことをいいます。

上記は過去の情報または作成時点の見解であり、

※当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性

先進国

の関心の高まりが期待されます。

スピードで進歩してきており、さまざまな応用が期待される

医療技術の進歩

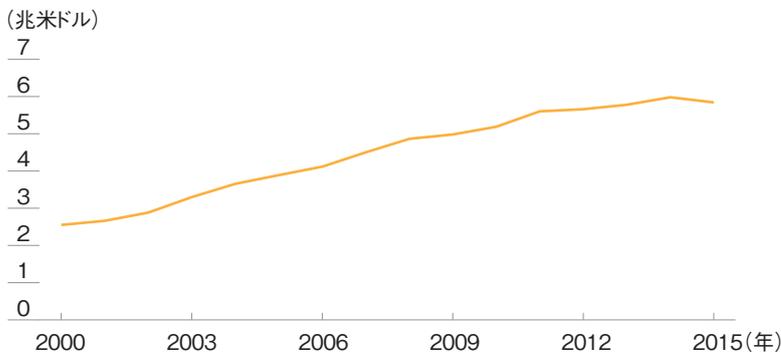
医療技術は目覚ましいスピードで、進歩を遂げてきました。

医療機器・技術の進歩



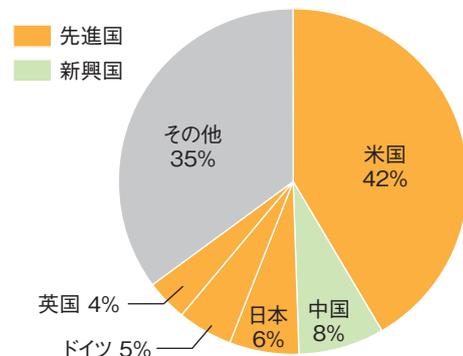
出所:AIMBE(米国医学生物工学会)、公益財団法人医療機器センターの情報をもとにアセットマネジメントOne作成

先進国の医療支出の推移



※期間:(左グラフ)2000年～2015年(年次)、(右グラフ)2015年時点
※先進国は世界銀行が定義する「High Income」、新興国はそれ以外を使用
出所:世界銀行のデータをもとにアセットマネジメントOne作成

世界の医療支出の国別比率



※医療支出は公的支出と民間支出の合計額
※比率の合計は、端数処理の関係で100%とならない場合があります。

将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

について、同社が保証するものではありません。※当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

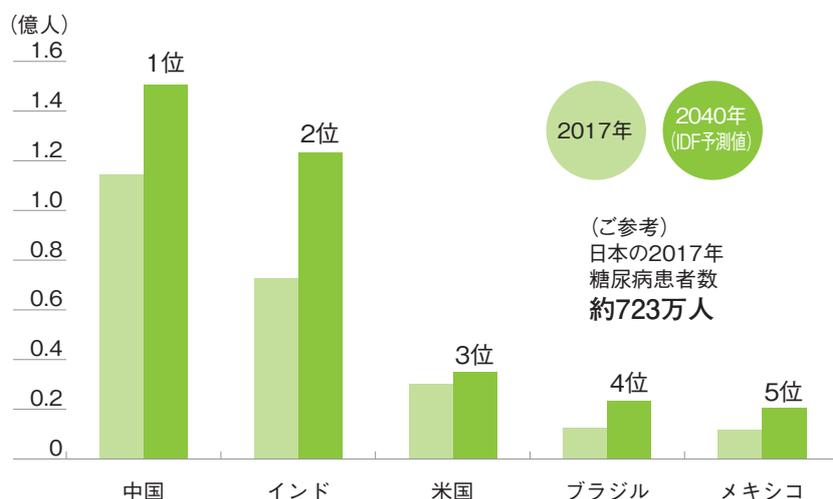
人口増加や生活水準の向上により新興国で

新興国では経済成長に伴い、生活スタイルも欧米化の影響を受けつつあ
向上と大幅な人口増加が予想されることから、医療需要が拡大するもの

生活スタイルの変化

生活水準が向上して食生活が豊かになっていることなどから、
糖尿病患者は増加すると予想されています。

糖尿病患者数上位5カ国



※ランキングは2040年の予測値
出所:IDF(国際糖尿病連合)のデータをもとにアセットマネジメントOne作成



名目GDPと医療費の関係

名目GDPと医療費の関係をみると、1人当たり名目GDPが増加すると、1人当たり
医療費が増加する傾向がみられます。そのため新興国では、今後の経済成長に伴い、
医療費が増加すると予想しています。

上記は過去の情報または作成時点の見解であり、

※当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性

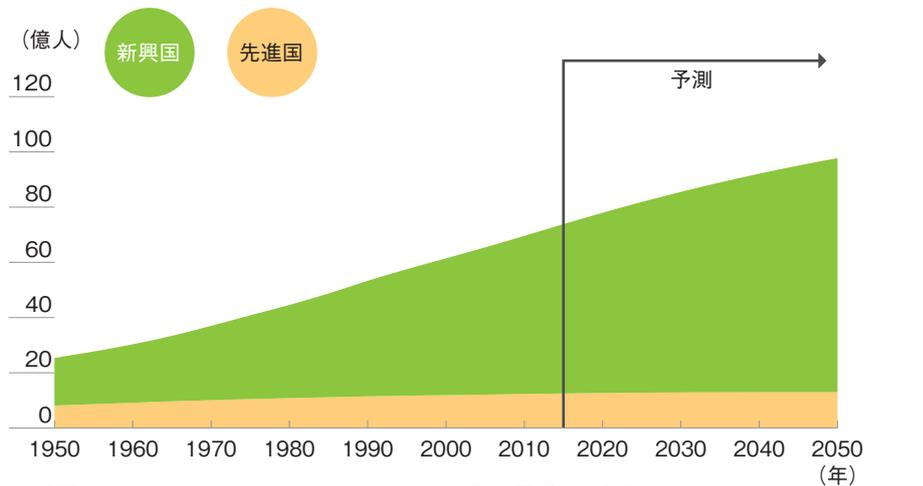
医療需要の増加が期待されます。

ります。また、新興国は今後長期にわたり生活水準の
とを考えます。

人口増加

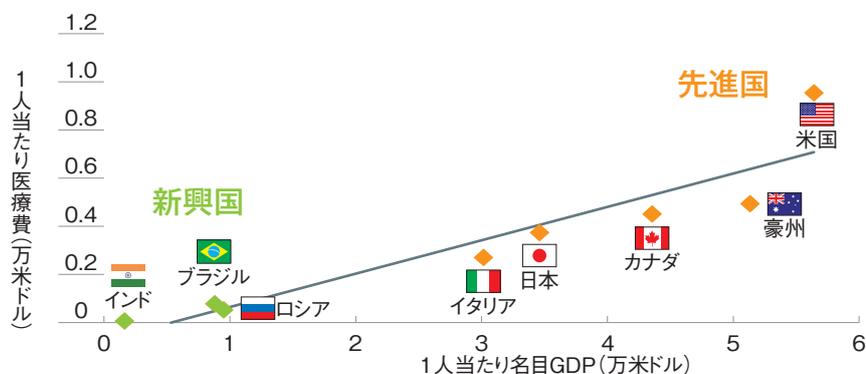
新興国の人口は大きく増加することが予想されます。
2010年の約57億人が、2050年には約85億人になる見込みです。

人口推移



※期間:1950年～2050年(年次、ただし2015年以降は国際連合予測値)
 ※先進国と新興国は国際連合が定義する「More developed regions」と「Less developed regions」を使用
 出所:国際連合のデータをもとにアセットマネジメントOne作成

名目GDPと医療費の関係



※2015年時点
 ※先進国と新興国はIMF定義によるもの
 ※グラフ上のグレーの線は近似曲線です。
 出所:IMF、世界銀行のデータをもとにアセットマネジメントOne作成

将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

について、同社が保証するものではありません。※当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

最先端技術が次の医療を切り開く『バイ』

バイオテクノロジーの発展により、がん、糖尿病、C型肝炎など多くの慢性・急用いた再生医療や新薬の実用化などが進めば、さらに医療が身近なものみえています。

世界の大型医薬品の売上高

世界の大型医薬品売上高ランキングをみると上位20品目のうち12品目をバイオ医薬品が占めています。

ランキング上位20品目

順位	製品名	主な薬効	メーカー名	売上高 (億米ドル)
1	ヒュミラ	関節リウマチ／乾癬他	アッヴィ／エーザイ	165
2	エンブレル	関節リウマチ／乾癬他	アムジェン／ファイザー／武田	92
3	ハーボニー	慢性C型肝炎	ギリアド・サイエンシズ	91
4	レミケード	関節リウマチ／クローン病他	J&J／メルク／田辺三菱	88
5	リツキサン	非ホジキンリンパ腫	ロシュ	87
6	レプリミド/レブラミド	多発性骨髄腫	セルジーン	70
7	アバスチン	転移性結腸がん	ロシュ	69
8	ハーセプチン	乳がん	ロシュ	69
9	ジャヌビア/ジャヌメット	2型糖尿病／DPP4阻害	メルク／小野薬品／アルミラル	64
10	ランタス	糖尿病／インスリンアナログ	サノフィ	63
11	アイリーア	加齢黄斑変性	バイエル／リジェネロン／参天	62
12	プレベナー	肺炎球菌ワクチン	ファイザー	57
13	ザレルト/イグザレルト	抗凝固剤／Xa阻害剤	バイエル／J&J	55
14	リリカ	神経性疼痛／てんかん	ファイザー／エーザイ	52
15	ニューラスタ/ジーラスタ	好中球減少症G-CSF	アムジェン／協和キリン	48
16	アドエア/セレタイド	抗喘息／COPD吸入	GSK	47
17	オプジーボ	抗がん剤／PD-1阻害	小野薬品／BMS	47
18	ノボラビット/ノボミックス	糖尿病／インスリンアナログ	ノボ・ノルディスク	45
19	トリメク/テビケイ	抗HIV薬3剤配合	塩野義／GSK	43
20	コパキソン	多発性硬化症	テバ製薬	42

売上高上位に占める
バイオ医薬品の本数

12本 / 20本

※2016年時点

※水色はバイオ医薬品

※メーカー名は略称

出所:研ファーマ・プレーンの「世界の大型医薬品売上高ランキング2016」をもとにアセットマネジメントOne作成

注目銘柄

差別化された商品を持ち、未だ満たされていない医療

■ ベイジーン (中国)



※期間:2009年4月末～2018年7月末(月次)(ベイジーンは2016年4月末～2018年7月末(月次))

出所:ジャナス、ブルームバーグのデータをもとにアセットマネジメントOne作成

臨床段階の抗がん剤を手掛ける中国のバイオ医薬品メーカー。中国では、自国製の大型新薬開発を目指し、自国の医薬品企業に対する融資基準や規制の緩和に取り組み始めており、2017年7月には、同社に対し米バイオ医薬品セルジーンが、がん治療薬の開発・商用化を支援しています。同社はセルジーンとのライセンス契約の下、中国をはじめ世界で販売拡大を目指しており、中国では既に3つの抗がん剤が上市を果たしています。

※上記の個別銘柄はあくまでも一例であり、当ファンドへの組入れを示唆・保証するものではありません。また、掲載した個別銘柄の売買を推奨するものではありません。

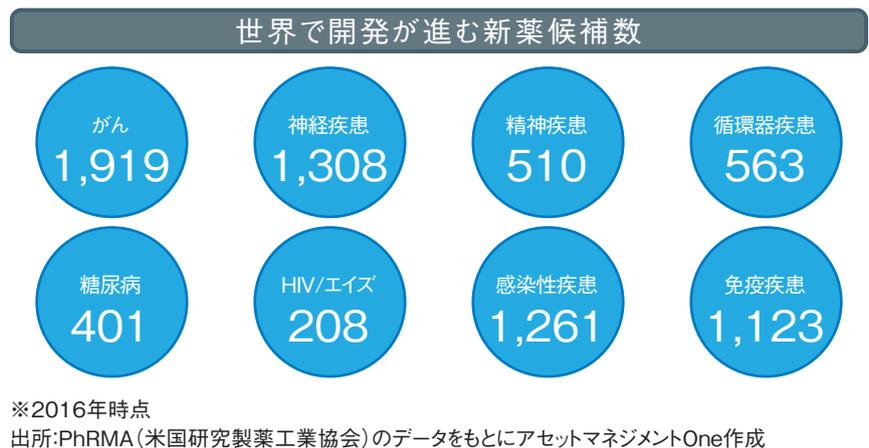
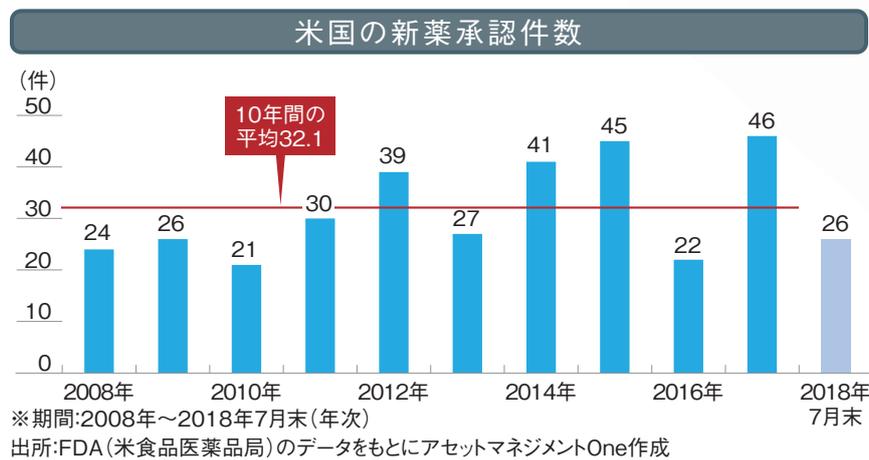
※運用に当たっては、ジャナス・キャピタル・マネジメント・エルエルシー(ジャナス)に運用の指図に関する権限の一部を委託します。なお、一部とは、株式の運用およびそれ

上記は過去の情報であり、将来の運用

※当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性

オテクノロジー』

性疾患などの治療法が開発されてきました。今後、iPS細胞などとなることが期待され、市場規模の大幅な拡大につながるものと



ニーズに取り組む会社

リジェネロン・ファーマシューティカルズ(米国)



米国の大手バイオ製薬会社。同社は、主力の加齢黄斑変性などの眼病治療薬が2018年3月に糖尿病性網膜症への適用に関する臨床試験で、良好な結果が得られたことを発表しました。同治療薬は効能、コスト、利便性の点で優位性が高いことから、糖尿病性網膜症の治療薬として市場シェア拡大が期待されます。

に付随する為替取引を指します。
成果等を示唆・保証するものではありません。
 について、同社が保証するものではありません。※当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

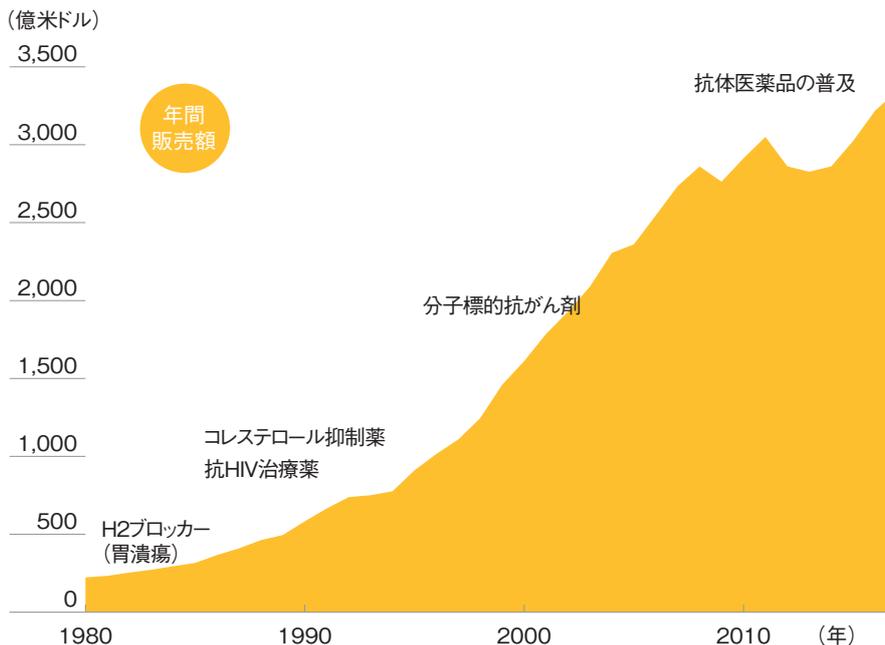
技術革新やジェネリック医薬品の躍進が

先進国では、高齢化とバイオテクノロジーの発展を受けて、バイオ医薬品の需
ジェネリック医薬品を中心に需要増が期待されることから、ジェネリック医薬

※ジェネリック医薬品とは後発医薬品のことで、有効成分、品質、効き目が先発医薬品と同等のものを指します。

世界の医薬品の年間販売額と医薬品の開発

さまざまな医薬品が開発される一方で、アルツハイマー病や糖尿病の3大合併症（糖尿病網膜症、糖尿病腎症、糖尿病神経障害）などをはじめとして決定的な治療薬がないものも少なくありません。医学の進歩に伴い難病薬が普及することによって、さらなる市場拡大が期待されます。



※期間:1980年~2017年(年次)
 ※PhRMAに属する世界の主要製薬企業の米国内外の販売額の合計額
 出所:PhRMA、各種資料のデータをもとにアセットマネジメントOne作成

注 目 銘 柄

医薬品業界におけるM&A(合併、買収)の活発化

イーライリリー・アンド・カンパニー(米国)



医薬品の開発、販売を手掛けている米国の製薬会社。糖尿病の治療のため世界で初めてインスリン製剤の実用化に成功した会社です。同社の糖尿病治療薬は、他社が模倣することが難しいとみられているため、今後も好調な売上が期待されています。また、市場が拡大しているリウマチや高コレステロールなどに対する医薬品や、治療のニーズの高い神経系やがんの治療薬開発にも積極的に取り組んでいます。

※期間:2009年4月末~2018年7月末(月次)
 出所:ジャナス、ブルームバーグのデータをもとにアセットマネジメントOne作成

※上記の個別銘柄はあくまでも一例であり、当ファンドへの組入れを示唆・保証するものではありません。また、掲載した個別銘柄の売買を推奨するものではありません。

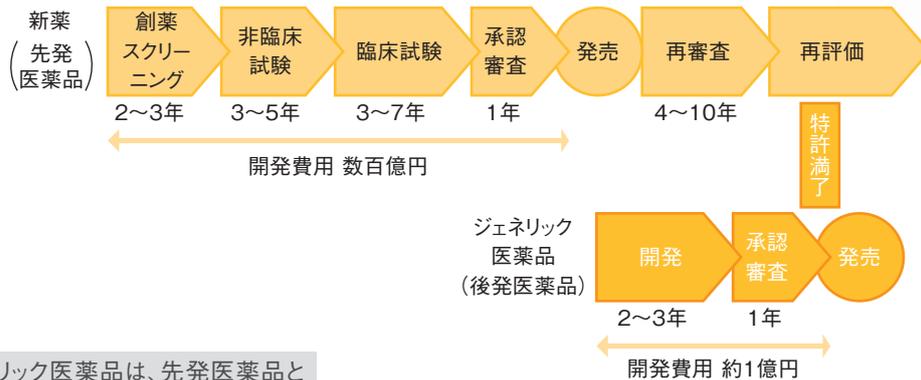
上記は過去の情報または作成時点の見解であり、

※当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性

『医薬品』の市場をけん引

要の高まりが期待されます。一方、新興国においては、より安価な品は潜在的な巨大市場として注目されています。

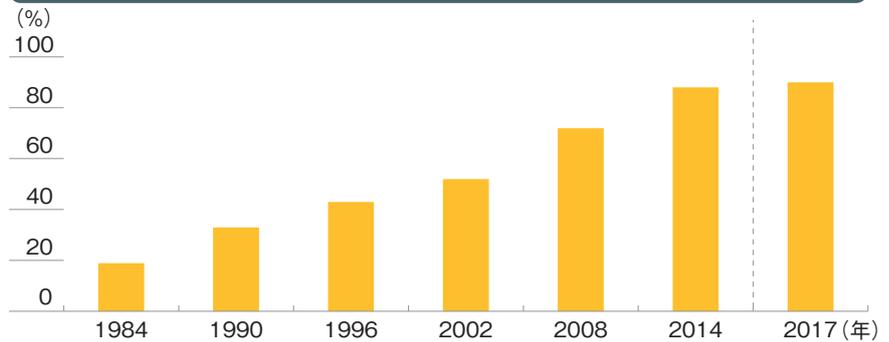
日本における新薬開発のプロセスとジェネリック医薬品の発売までのイメージ



ジェネリック医薬品は、先発医薬品と異なり、小規模の臨床試験を実施するだけでよく、また承認審査も簡素化されているため、先発医薬品と比較すると、研究開発費や時間をほとんどかける必要がありません。そのため、ジェネリック医薬品の薬価は、先発医薬品の薬価よりも大幅に安くなっています。

出所:日本ジェネリック製薬協会の情報をもとにアセットマネジメントOne作成

米国の処方薬に占めるジェネリック医薬品の割合の推移



※期間:1984年~2017年(年次)

出所:PhRMAのデータをもとにアセットマネジメントOne作成

ロシュ・ホールディング(スイス)



心血管疾患、伝染病、自己免疫疾患、呼吸器疾患などの疾病を対象とする処方薬を開発・製造する世界的な製薬会社。同社は医薬品事業と診断薬事業を主軸とし、革新的な薬剤、疾患の早期発見や正確な検査のための診断関連機器・試薬などのソリューションを提供しています。同社は乳がんなどの有力な抗がん治療薬の開発に強みを持つほか、病気の要因に応じて治療を行う「テーラーメイド医療」にも注力しています。

将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

について、同社が保証するものではありません。※当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

医療技術の進歩とともに『医療機器』も

高齢化の進展や医療需要の増加、医療技術の進歩に伴い、医療機器はさらなる技術革新が医療機器市場拡大のけん引役になると考えます。



臓器もプリンターで複製へ

3Dプリンターの登場は医療機器分野においても大きな影響を与えています。

3Dプリンターで臓器を複製することで、医学生の教材はもちろんのこと、患部を再現することで手術の予行が可能となります。

また、移植用の細胞や臓器など、体の組織を複製する事例もみられています。

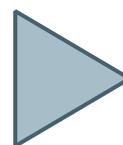
NIC(米国家情報会議)では、2030年には従来の製品、特に高額なものについて需要が出始めるとみえています。

世界の医療機器分野上位10社の売上推移

2007年		2017年			
(億米ドル)		(億米ドル)			
1	アボットラボラトリーズ	259	1	メトロニック	300
2	メトロニック	135	2	アボットラボラトリーズ	274
3	バクスターインターナショナル	113	3	サーモフィッシャーサイエンティフィック	209
4	ダナハー	110	4	ダナハー	183
5	オリンパス	99	5	ストライカー	124
6	サーモフィッシャーサイエンティフィック	97	6	ベクソン・ディッキンソン	121
7	ボストン・サイエンティフィック	84	7	バクスターインターナショナル	106
8	ベクソン・ディッキンソン	64	8	IQVIAホールディングス	97
9	ストライカー	60	9	ボストン・サイエンティフィック	90
10	アジレント・テクノロジー	54	10	エシロールインターナショナル	85
合計額		1,075	合計額		1,589

上位10社
合計額

1,075億
米ドル



1,589億
米ドル

出所:ジャナス、ブルームバーグのデータをもとにアセットマネジメントOne作成

注目銘柄

革新的で、高い医療ニーズの解決に取り組んでいる

■ バクスターインターナショナル(米国)



血友病、免疫障害、感染症などの治療に関連する製品と技術を開発、製造、販売する会社です。同社の製品は、病院、腎透析センター、介護施設、リハビリセンター、医院、研究所などで幅広く使用されています。同社が開発した世界初の輸液用の軟質プラスチックバッグは業界の標準製品になるなど、世界中で幅広く使用されています。

※上記の個別銘柄はあくまでも一例であり、当ファンドへの組入れを示唆・保証するものではありません。また、掲載した個別銘柄の売買を推奨するものではありません。

上記は過去の情報であり、将来の運用

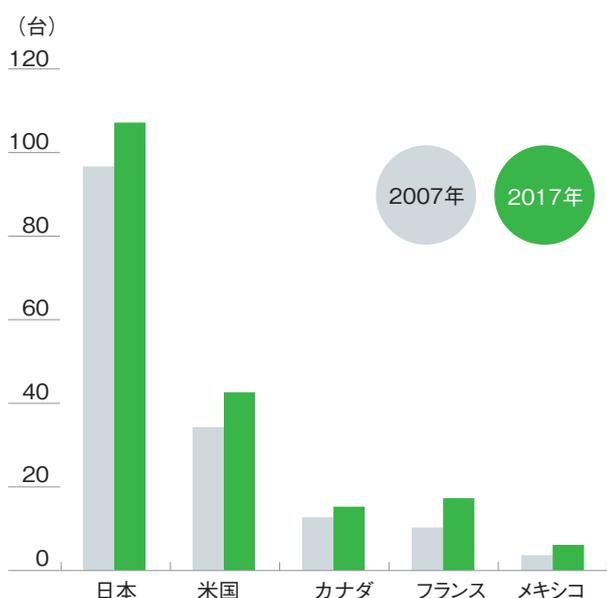
※当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性

市場拡大へ

市場規模を拡大してきました。今後の医療利用者拡大や

医用画像診断装置の台数

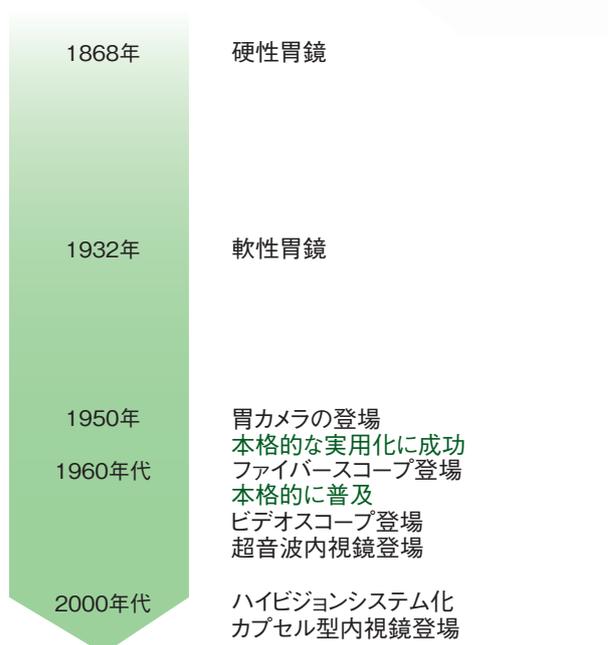
■ CT台数(百万人当たり)



※日本は2008年と2014年の比較、メキシコは2007年と2016年の比較
出所:OECDのデータをもとにアセットマネジメントOne作成

内視鏡の変遷

内視鏡が実用化したのはわずか約60年前。世界に先駆けて実用化したのは日本のメーカーでした。グラスファイバーを応用したファイバースコープの誕生以降、さまざまな技術を応用した内視鏡が登場しました。今日では、検査だけではなく治療にも大きな役割を果たしています。



出所:一般社団法人日本カプセル内視鏡学会、各種資料をもとにアセットマネジメントOne作成

企業

■ ボストン・サイエンティフィック(米国)



世界規模の医療機器メーカー。1979年の創設以来、革新的な医療機器を製造し続け、医療テクノロジー業界をリードしている企業です。患者への負担を可能な限り軽くすることのできる、カテーテルなどを用いた低侵襲治療に特化した医療機器の開発・製造・販売を行っています。

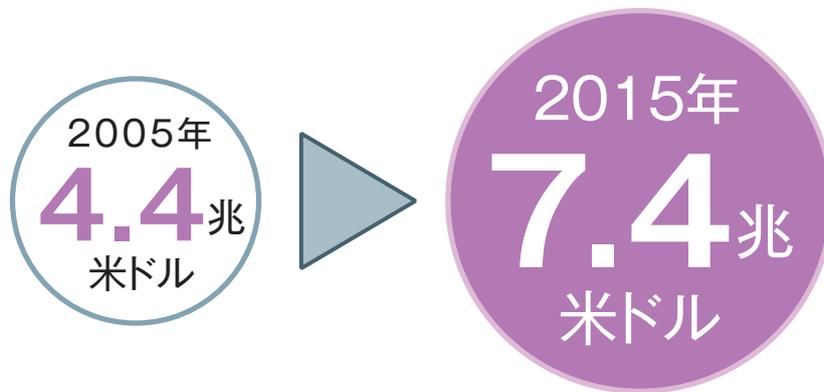
成果等を示唆・保証するものではありません。

について、同社が保証するものではありません。※当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

世界レベルの社会保障費増大で『ヘル

高齢化や生活習慣病患者の増加により、社会保障費の増大が世界的に問
これにより、病院経営や在宅介護サービス企業、医療システム企業、ドラッグ
なることが予想されます。

世界の医療支出規模



※医療支出は公的支出と民間支出の合計額
出所:世界銀行のデータをもとにアセットマネジメントOne作成

注目銘柄

医療制度の効率性を改善し費用削減に貢献する企業

■ エトナ (米国)



※期間:2009年4月末~2018年7月末(月次)
出所:ジャナス、ブルームバーグのデータをもとにアセットマネジメントOne作成

米国の大手総合健康保険会社。企業や個人に管理医療(マネージドケア)*、定額補償型保険、メディケア、メディケイド関連サービスなどを提供しています。同社は全米各地に幅広い顧客基盤を有していることから、コストや保険料の面で競争優位性を有しています。米国では医療保険制度に関して審議が行われていますが、同社はその行方に関わらず堅実な収益を上げていくとみています。

*管理医療とは、医療サービスの利便性、医療費、医療の質を総合的に管理する組織や制度を指します。

※上記の個別銘柄はあくまでも一例であり、当ファンドへの組入れを示唆・保証するものではありません。また、掲載した個別銘柄の売買を推奨するものではありません。

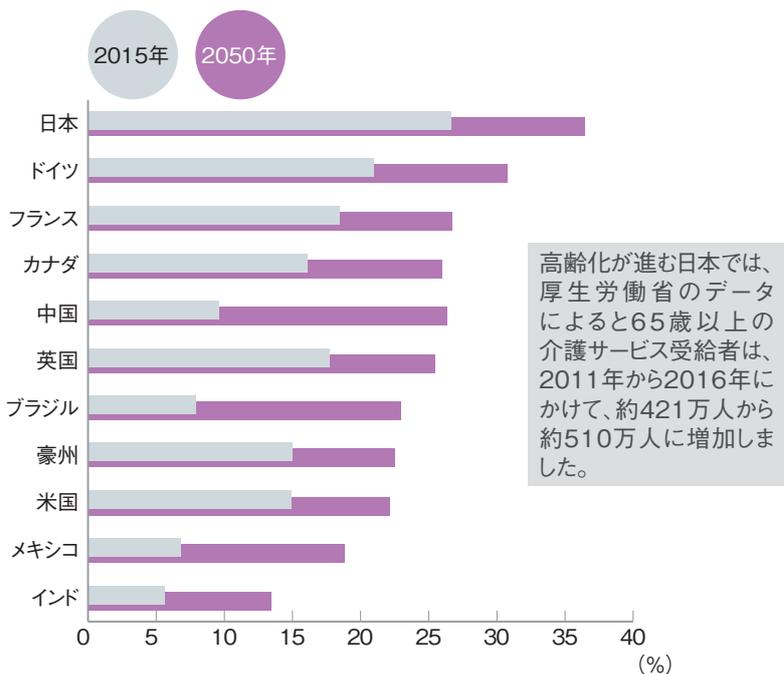
上記は過去の情報または作成時点の見解であり、

※当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性

『スケア・サービス』に注目

題となるなか、医療制度の効率性の改善が重要視されています。ストアなどヘルスケア・サービス分野に対する恩恵はより広範なものに

高齢者比率



高齢化が進む日本では、厚生労働省のデータによると65歳以上の介護サービス受給者は、2011年から2016年にかけて、約421万人から約510万人に増加しました。



先進国で高まる遠隔医療需要

先進国では在宅の介護が増加傾向にありますが、その背景の1つに遠隔医療の機器・サービス拡大があります。米国遠隔医療協会によると、遠隔医療先進国の米国では、約3,500のサービス拠点を結ぶ約200の遠隔医療ネットワークが存在しています。

遠隔医療は、ITや通信インフラ等の進展に伴い、画像診断に加え、看護や処方、手術中の病理診断、診療支援(診察・手術・内視鏡など)まで、活用の幅が拡大しています。

※高齢者比率は人口に占める65歳以上の割合
 ※2050年の高齢者比率は予測値
 出所:OECDのデータをもとにアセットマネジメントOne作成

ユニバーサル・ヘルス・サービスズ(米国)



米国を中心に200棟以上の救急病院、精神障害治療施設、外来手術施設などを所有、経営している米国で最大の病院経営企業の1つです。財務、総務、人事のみならず、広報、情報サービス、医師の募集・採用など多岐にわたるサービスを所有する施設に提供しています。高齢化の進展による病院利用の増加は、同社にとって追い風になると考えられます。

将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

について、同社が保証するものではありません。※当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

ファンドの特色

1 主として成長性の高い世界の メディカル・サイエンス企業の株式に投資します。

- メディカル・サイエンス企業とは、バイオテクノロジー、医薬品、医療機器、ヘルスケア・サービスなどに関連する企業を指します。
- 医療技術の進歩や新興国の生活水準の向上に伴い、急速な拡大が期待される医療需要をとらえて成長する世界のメディカル・サイエンス分野に着目します。

2 運用に当たっては、 ジャナス・キャピタル・マネジメント・エルエルシー (ジャナス)に運用の指図に関する権限の一部(*) を委託します。

*株式の運用およびそれに付随する為替取引を指します。

- ジャナスは独自の企業調査、分析により、革新的な医薬品や医療機器の開発・販売、新興国へのビジネス展開、グローバル市場におけるM&A(合併、買収)などにおいて、成長力のある企業を発掘し投資します。
- 株式の組入比率は、原則として高位を保ちます。

3 原則として、対円での為替ヘッジは行いません。

- 組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジは行いません。

資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

ファンドの投資リスク

当ファンドは、値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）に投資しますので、ファンドの基準価額は変動します。これらの運用による損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金と異なります。

基準価額の変動要因

株価変動リスク 当ファンドは、株式に投資をしますので、株式市場の変動により基準価額が上下します。

為替リスク 当ファンドは、組入外貨建資産について原則として対円で為替ヘッジを行わないため為替変動の影響を受けます。このため為替相場が当該組入資産の通貨に対して円高になった場合には基準価額が下がる要因となります。

業種および個別銘柄選択リスク 当ファンドは、業種および個別銘柄の選択による投資を行いますので、株式市場全体の動向から乖離することがあり、株式市場が上昇する場合でも当ファンドの基準価額は下がる場合があります。

信用リスク 当ファンドが投資する株式の発行者が経営不安・倒産に陥った場合、またこうした状況に陥ると予想される場合等には、株式の価格が下落したりその価値がなくなることがあり、基準価額が下がる要因となります。

流動性リスク 当ファンドにおいて有価証券等を売却または取得する際に、市場規模、取引量、取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合には、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないことや、値動きが大きくなることがあり、基準価額に影響を及ぼす可能性があります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

分配金に関する留意事項

- 収益分配は、計算期間中に発生した運用収益（経費控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。))を超えて行われる場合があります。したがって、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 受益者の個別元本の状況によっては、分配金の全額または一部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。個別元本とは、追加型投資信託を保有する受益者毎の取得元本のことで、受益者毎に異なります。
- 分配金は純資産総額から支払われます。このため、分配金支払い後の純資産総額は減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。計算期間中の運用収益以上に分配金の支払いを行う場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。

当ファンドは、メディカル・サイエンス株式運用の一部を委託します。

※運用に当たっては、ジャナス・キャピタル・マネジメント・エルエルシーに運用の指図に関する権限の一部を委託します。なお、一部とは、株式の運用およびそれに付随

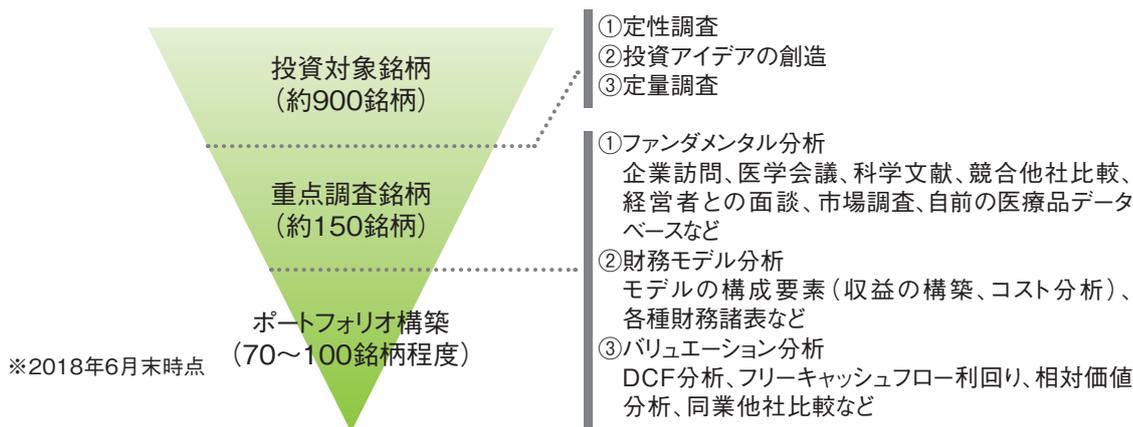
ジャナス・キャピタル・マネジメント・エルエルシー

ジャナス・キャピタル・マネジメント・エルエルシーは、ジャナス・ヘンダーソン・グループの一員です。同グループは、ニューヨーク証券取引所およびオーストラリア証券取引所に上場している世界有数のアクティブ運用会社です。同グループは世界28都市のオフィスに2,000名超の従業員が在籍しており、グループの総運用資産残高は約3,701億米ドルに上ります。創設以来、一貫して資産運用に専念。揺るぎない投資哲学と豊富な専門知識、グローバルに広がるネットワークを基盤に、さまざまな資産運用戦略の提供に取り組み、確かな実績を築いています。

※2018年6月末時点

運用プロセス

徹底したボトムアップ・リサーチに基づき、ポートフォリオ・マネージャーが中長期的な成長性を重視して銘柄を選択します。ポートフォリオ構築に際しては、サブ・セクター内での分散を図り、ダウンサイドリスクの抑制にも配慮します。



ジャナスの運用担当者はこんな人

アンディ・アッカー氏
ポートフォリオ・マネージャー

ジャナスではメディカル・サイエンス株式の運用は、最終的な銘柄選定を行う運用担当者である2名のポートフォリオ・マネージャーとアナリストおよびリサーチアソシエーツによる専任チームを中心に行われています。同チームの多くが理工系学部出身者であり、中には医学博士号を取得した人も在籍していることから、新たな治療法などの科学的背景を掘り下げることが可能となります。

ポートフォリオ・マネージャーでバイオテクノロジーのアナリストを兼務するアンディ・アッカー氏は、ハーバード大学にて生化学の学位を取得。その後ハーバード・ビジネス・スクールでMBAを取得しています。また、同じくポートフォリオ・マネージャーで医薬品と医療機器のアナリストを兼務するイーサン・ラベル氏は、ボウディン大学で化学と経済学の学位、デュレン大学にてMBAを取得。ジャナス入社以前より複数社でバイオテクノロジー、医薬品および医療機器の株式アナリスト等を務めた経験があります。



出所:ジャナスの情報をもとにアセットマネジメントOne作成

上記は過去の情報であり、将来の運用

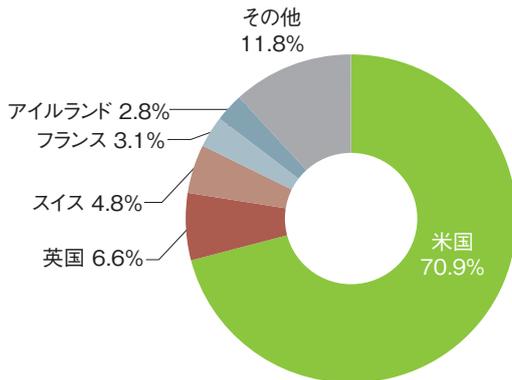
※当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性

投資に実績のあるジャンナスに

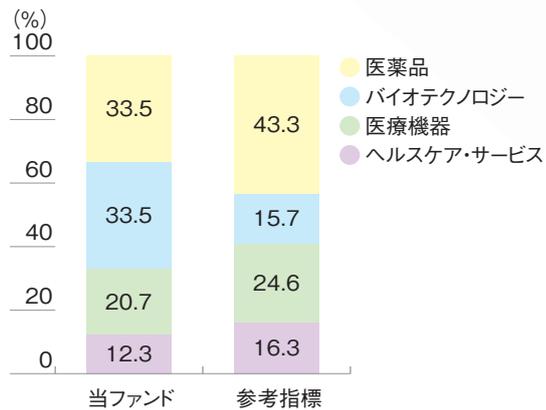
する為替取引を指します。

当ファンドの運用状況

国別配分



業種別配分



上位組入銘柄と組入比率

順位	銘柄名	国名	業種	組入比率
1	アストラゼネカ	英国	医薬品	3.7%
2	イーライリリー・アンド・カンパニー	米国	医薬品	3.2%
3	メルク	米国	医薬品	3.2%
4	ヒューマナ	米国	ヘルスケア・サービス	2.6%
5	サノフィ	フランス	医薬品	2.6%
6	ノバルティス	スイス	医薬品	2.6%
7	シャイアー	ジャージー	バイオテクノロジー	2.6%
8	アボット・ラボラトリーズ	米国	医療機器	2.5%
9	サーモ・フィッシャー・サイエンティフィック	米国	医療機器	2.3%
10	ボストン・サイエンティフィック	米国	医療機器	2.2%

合計91銘柄

※2018年7月末時点
 ※比率は組入株式評価額に対する割合です。
 ※比率の合計は、端数処理の関係で100%とならない場合があります。
 ※業種分類はジャンナス分類による
 ※当ファンドの参考指標はMSCIワールド・ヘルスケアインデックスです。

■ 指数の著作権等

MSCIワールド・ヘルスケアインデックスは、MSCI Inc.が公表しているインデックスで、当指数に関する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc.に属しており、また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

成果等を示唆・保証するものではありません。

について、同社が保証するものではありません。※当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

投資信託ご購入の注意

投資信託は、

- (1) 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
- (2) 購入金額については、元本保証および利回り保証のいずれもありません。
- (3) 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

■当資料はアセットマネジメントOne株式会社が作成した販売用資料です。お申込みに際しては、販売会社からお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認くださいのうえ、ご自身でご判断ください。

お申込みメモ(ご購入の際は、投資信託説明書(交付目論見書)をご確認ください。)

購入単位

販売会社が定める単位(当初元本1口=1円)

※「分配金受取コース」および「分配金自動いぞく投資コース」によるお申込みが可能です。お申込みになる販売会社によっては、どちらか一方のコースのみのお取扱いとなります。購入単位および取扱コースについては、販売会社にお問い合わせください。

購入価額

購入申込受付日の翌営業日の基準価額(基準価額は1万口当たりで表示しています。)

換金単位

販売会社が定める単位

換金価額

換金申込受付日の翌営業日の基準価額

換金代金

原則として換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払します。

購入・換金不可日

ニューヨーク証券取引所、またはニューヨークの銀行の休業日に該当する日には、購入・換金のお申込みの受付を行いません。

換金制限

信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金請求に制限を設ける場合があります。

購入・換金申込受付の中止および取消

金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止することおよびすでに受付けた購入・換金のお申込みの受付を取り消す場合があります。

信託期間

2029年7月19日まで(2014年8月1日設定)

繰上償還

受益権口数が10億口を下回ることとなった場合等には、償還することがあります。

決算日

毎年1月23日および7月23日(休業日の場合には翌営業日)

収益分配

毎決算日に収益分配方針に基づき、収益分配を行います。「分配金受取コース」原則として決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始します。

「分配金自動いぞく投資コース」税引後、自動的に無手数料で全額再投資されます。※分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

課税関係

- ◆当ファンドは課税上は株式投資信託として取り扱われます。原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時の値上がり益および償還時の償還差益に対して課税されます。
- ※公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「NISA(ニーサ)」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。
- ※税法が改正された場合等には、上記内容が変更となることがあります。

お客さまにご負担いただく手数料等について

下記手数料等の合計額等については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。詳細については、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

●ご購入時

購入時手数料

購入価額に**3.24%(税抜3.0%)**を上限として販売会社が定める手数料率を乗じて得た額となります。購入時手数料は、商品や投資環境の説明および情報提供等、ならびに購入に関する事務手続き等にかかる費用の対価として、販売会社に支払われます。※くわしくは販売会社にお問い合わせください。

●ご換金時

換金時手数料

ありません。

信託財産留保額

ありません。

●保有期間中(信託財産から間接的にご負担いただきます。)

運用管理費用(信託報酬)

ファンドの日々の純資産総額に対して**年率1.944%(税抜1.80%)**

支払先	内訳(税抜)	主な業務
委託会社	年率0.95%	信託財産の運用、目論見書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
販売会社	年率0.80%	購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
受託会社	年率0.05%	運用財産の保管・管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価

※委託会社の信託報酬には、当ファンドの株式等の運用の指図に関する権限の委託を受けた投資顧問会社(ジャナス・キャピタル・マネジメント・エルエルシー)に対する報酬(当ファンドの信託財産の純資産総額に対して年率0.45%~0.55%)が含まれます。

その他の費用・手数料

組入る有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料、信託事務の諸費用、外国での資産の保管等に要する費用、監査費用等が信託財産から支払われます。※その他の費用・手数料については、定期的に見直されるものや売買条件等により異なるものがあるため、事前に料率、上限額等を表示することができません。

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

委託会社その他関係法人の概要

- 委託会社 **アセットマネジメントOne株式会社**
信託財産の運用指図等を行います。
- 受託会社 **みずほ信託銀行株式会社**
信託財産の保管・管理業務等を行います。
- 販売会社 **募集の取扱いおよび販売、投資信託説明書(目論見書)・運用報告書の交付、収益分配金の再投資、収益分配金、一部解約金および償還金の支払いに関する事務等を行います。**

照会先

アセットマネジメントOne株式会社

- コールセンター **0120-104-694** 受付時間: 営業日の午前9時~午後5時
- ホームページアドレス **http://www.am-one.co.jp/**

お申込みにあたっては、販売会社からお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください。

■投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

■設定・運用は

 **とうほう証券**

 **アセットマネジメントOne**

商号等: とうほう証券株式会社
金融商品取引業者 東北財務局長(金商)第36号
加入協会: 日本証券業協会

商号等: アセットマネジメントOne株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第324号
加入協会: 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会